

講義科目 : 行政法	単位数 : 4
担 当 : 藤枝 律子	学習形態 : 選択科目

講義の内容・方法および到達目標

社会保障、道路交通、ガス・水道・電気などの生活手段の整備や運営・管理にとどまらず、環境保全、消費者保護など様々な分野における公共的な仕事が、国や地方自治体によって担われている。現代社会に生きる我々にとって、行政は不可欠な存在であり、行政活動は、日常的に私たちの生活を規制したり、助成したり誘導したりしている。そして、社会そのもの、人々の生活のあり方が多様性を増すとともに、行政活動のあり方も多様なものとならざるをえない。そこで、改めて行政とは何か、行政の果たすべき役割とは何かが問われるようになってきている。本講義では、こうした現代的状況を視野に入れつつ、多くの判例に目を通しながら、行政と行政法について考えていきたい。そして、制度変化の中にある行政法について、基本的な原理や仕組みについて理解を深め、法的思考を身につけることを目標とする。

授業計画

第1回	現代行政と行政法	第16回	行政準則 - 裁判による統制
第2回	現代行政の特徴	第17回	行政行為 - 意義と類型
第3回	行政と憲法	第18回	行政行為 - 手続と統制
第4回	行政活動の目的・手段・内容	第19回	行政行為 - 適法性要件
第5回	行政法の法源	第20回	行政行為 - 効力
第6回	法治主義とは何か	第21回	行政行為 - 司法審査
第7回	法治主義と民主主義	第22回	行政指導 - 意義と手続
第8回	行政法の諸原則 - 比例原則・平等原則	第23回	行政指導 - 適法性要件
第9回	行政法の諸原則 - 信頼保護の原則	第24回	行政の実効性確保の制度 - 行政上の強制執行制度
第10回	行政手続 - 行政手続と法治主義	第25回	行政の実効性確保の制度 - 行政上の制裁制度
第11回	行政手続 - 適正手続の原則の内容	第26回	国家補償 - 国家賠償
第12回	行政計画 - 意義と手続	第27回	国家補償 - 損失補償
第13回	行政計画 - 適法性要件	第28回	行政事件訴訟 - 概念と沿革
第14回	行政準則 - 法規命令	第29回	行政事件訴訟 - 類型
第15回	行政準則 - 行政規則	第30回	行政事件訴訟 - 取消訴訟

(ただし、進行状況等により変更する場合がある。)

教材・テキスト・参考文献等

- ・教科書、参考文献等は、初回講義時に提示をする。
- ・講義時に、レジュメ、資料を配布する。
- ・『ポケット六法』等コンパクトなものでよいので六法を持ってくること。

成績評価方法

- ・定期試験70%、および平常点（出席時に提出するレポート）30%で評価する。

その他

- ・憲法とあわせての受講計画が望ましい。